

兵庫医科大学大学院 看護学研究科

本研究科についてQ&A形式でご紹介いたします。

A1～3は複数の院生が回答しておりますので、ご自身の状況に合った回答をご参照ください。

Q1 どのように履修の計画を立てていますか？

- A1**
- 1) 働きながらということと、子どもがいるので家族との時間もとりながら大学院へ通うために、3年間の長期履修制度を活用しました。今2年生ですが今のところ無理なく、予定通り履修できています。
 - 2) 休職して2年間の履修計画です。CNSコースのため、授業とゼミと実習があり、大変に感じるときもありますが、指導教員が上手に導いてくださり、現時点では2年での卒業を目指しています。
 - 3) 大学院進学希望時に仕事との両立を希望していたので、長期履修制度を活用しました。3年間での履修計画です。予定通り履修することができています。

Q2 どのように仕事や育児と両立していますか？

- A2**
- 1) 入学前と同じくらいの勤務日数（夜勤も月4-5回）をしています。共通科目は、前もってスケジュールが組まれているので休み希望をとって履修し、集中講義や日程変更があれば上司へ相談して受講を進めています。専門科目は、担当教員のスケジュールと自分の勤務の都合に合わせて朝・昼・夜で随時調整してもらっています。
 - 2) 専門科目は、保育園の時間内で専門科目のゼミや授業は調整してもらいました。子育てしながらのため、夕食・お風呂・洗濯・明日の用意・寝かしつけなどに時間を要するため、課題を持ち帰った場合は子どもが寝てから深夜にとりかかるときもあります。できるだけ保育園の時間内に院生室で課題をしています。
 - 3) 職場の理解もあり、ゼミや授業日程についての勤務調整をもらいました。

Q3 どのような授業が印象に残っていますか？

A3

- 1) 専門看護科目で様々な理論や最近の研究を学ぶことで自身の臨床経験や実践を振り返ることが出来ました。
- 2) 生命医療倫理学では、実際の事例で院生でグループワークを行いました。倫理について話し合う機会が少ないので、充実した時間になり、領域によって視点が異なるので学びになりました。
- 3) 看護教育学の課題では、題材からテーマを挙げ「自分が他者に何を伝えたいか」、「対象に合った内容か」、「どうすれば伝わるのか」を考えるのは新鮮で印象深かったです。
- 4) 看護理論や看護倫理の授業でプレゼンし、受講生たちとディスカッションしていくうちに、その面白さに触れ、興味深く考えることができました。臨床ではなかなか立ち止まって考えることのなかった世界に触れ、臨床に戻ったら学んだことを活かしていきたいと考えています。
- 5) 履修した授業全てにおいて新たな知識を得ることができ、充実した日々を送れています。
- 6) 特に看護研究の授業では、課題で実際に研究を展開するなど大変な面もありましたがやりがいもあり印象に残っています。

A4～5は教員が回答しております。

Q4 大学院は、どのように専門領域、あるいは指導教員を決めればよいでしょうか？

A4 各教員の専門領域、研究テーマについてホームページで確認いただき、興味のある領域の教員に 実際にお気軽に面談をお申込みいただき、学びたい内容や研究したい内容をご相談いただければ、具体的な助言が可能です。

Q5 研究は、大きな興味の範囲だけで、まだはつきり決められていないのですが大丈夫でしょうか？

A5 修士課程に入学後に、研究手法について学び、トピックについても一から文献検討も行って研究課題を決めていくので、日ごろ臨床で気になる現象、トピックや方向性があれば大丈夫です。